

3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	・動詞述語文、指示代名詞、助数詞、存現文について理解する。 ・飲食に関する語彙・表現を理解し、覚える。 ・買い物に関する語彙・表現を理解し、覚える。 ・レストランの場面での語彙や表現を理解し、覚える。	・飲食（レストランの場面も含む）・買い物に関する語彙・表現の学習を通じて、中国や台湾の文化・習慣について理解する。 ・ネット上にある日本と中国のファーストフード店の朝食メニューを調べて、日本との異同に気づく。 ・日・中・台の高校生を対象に行ったオンラインアンケート結果から、三地域の高校生の朝食に関する意識・行動における異同に気づく。	・情報機器（iPad）、動画編集ソフト（iMovie等）、オンラインアンケートフォーム（グーグルフォーム、腾讯闻讯）、授業支援クラウド（ロイロノート）の使い方について理解する。＜情報活用＞ ・日本語母語生徒および中国ルーツの生徒からなる小グループで朝食をテーマにディスカッションを行い、中華圏の多様性と進行するグローバル化について認識する。 ＜協働、高度思考＞
できる	・飲食・買い物に関する語彙・表現やレストランの場面での表現を使って会話をすることができる。	・日・中のファーストフード店のメニュー調査からわかった相違点もふまえて、オンラインアンケートを作成することができる。 ・オンラインアンケート結果から異同の事由およびその背景にある考え方や価値について分析することができる。	・情報機器をその環境や目的に応じて適切かつ効率的に使って、成果物にまとめることができる。＜情報活用＞ ・日本語母語生徒および中国ルーツの生徒が協力しながら、調査・分析・編集することができる。＜協働、高度思考＞
つながる	・神戸中華街において、日本語母語話者が中国ルーツの生徒の助けを借りながら、買い物をすることができる。		・情報機器、アプリを使って作成した成果物を校内の集会で紹介し、フィードバックを得る。＜情報活用、協働＞
三連携	【学習者】生徒にとって身近なコンテンツ（中国や台湾のファーストフード店のメニューなど）を使って調査・考察を行う 司会・IT操作・翻訳などそれぞれの得意分野を生かして学習を進める 【教室外】神戸中華街でのフィールドワーク、オンラインのアンケートフォームの利用、学年集会での発表 【他教科】情報科		